

映画 の 教室 2015

N
F
C
小ホール

京橋
映画
小劇場

KYOBASHI-ZA
No.31

2015年8月21日金-9月6日日

※金曜日・土曜日・日曜日の上映となります。

東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール(地下1階)

開映後の入場はできません。

定員=151名(各回入替制)

発券=地下1階受付

料金=大学・高校生310円

一般520円/シニア310円/小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

- ・観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- ・発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- ・学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- ・発券は各回1名につき1枚のみです。

小ホール 上映作品

映画の教室2015
Film Class of 2015

映画史を飾る古典的な作品をフィルム上映で鑑賞する機会が減少している中、フィルムセンターは、新たに映画芸術に触れようとする方々を主なターゲットとして、所蔵作品の中から映画を学ぶ上で重要な秀作を上映する「映画の教室」を今年も開催します。《京橋映画小劇場》第31回企画となるこの「映画の教室2015」では、外国映画5本、日本映画4本の計9作品(9プログラム)を上映いたします。皆様のご来場をお待ち申し上げます。

- (◎)＝監督・演出 (◎)＝原作・原案 (◎)＝脚本・脚色 (◎)＝撮影 (◎)＝美術 (◎)＝音楽 (◎)＝出演
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。

1 8/21(金)2:00pm 8/29(土)1:45pm

栄光(122分・24fps・16mm・サウンド版・染色) WHAT PRICE GLORY

米海兵隊員フラッグとクワートの、戦いと恋と友情の物語。原作戯曲を共同執筆したストーリーリングズは、キング・ヴィダー監督による前年の大作『ビッグ・パレード』の原作者でもあり、この2本が第一次大戦映画の人気を決定付けた。男だけの世界である軍隊でのコミカルなやり取りが楽しい一方で、戦場シーンは息を呑むような迫力である。1926年にアメリカでサイレント版が公開された後、翌27年に音響効果と音楽を付けて再公開された。J・フォード監督『栄光何するものぞ』(1952)はこのリメイク。1926(アメリカ)◎ラオール・ウォルシュ◎ローレンス・ストーリーリングズ◎マクスウェル・アンダーソン◎ジェームズ・T・オドナヒュー◎バーニー・マッギル◎ジョン・マータ◎ジョン・スミス◎ウィリアム・S・ダーリング◎エルノラペー◎リユー・ボラック◎ウィクター・マクラグレン◎エドワード・ロウ◎ドロレス・デルリリオ

2 8/21(金)5:00pm 8/30(日)11:00am

サンライズ

(96分・24fps・16mm・サウンド版・白黒・日本語字幕なし)

SUNRISE: A SONG OF TWO HUMANS

湖畔の村に住む純朴な若夫婦の前に、都会の女が現れる。女は夫を誘惑し、やがて恐ろしい事態が引き起こされる…。物語はシンプルだが、『ノスフェラトゥ』(1922)『最後の人』(1924)などの監督ムルナウがドイツからハリウッドに招かれて撮った本作は、トーキーへの移行が進むなか、サイレント映画が積み上げてきた芸術的達成をすべて凝縮したかのような、世界映画史に屹立する傑作となった。

*上映当日、あらすじを記したハンドアウトを会場で配付します。

1927(アメリカ)◎フリードリッヒ・ヴィルヘルム・ムルナウ◎ヘルマン・ズーデルマン◎カール・マイヤー◎チャールズ・ロジャール◎カール・ストラス◎ロチャス・グリース◎ジョージ・オブライエン◎ジャネット・ゲイナー◎マーガレット・リヴィングストン◎ポティル・ロージック◎J・ファレル・マクドナルド

3 8/22(土)10:30am 8/30(日)1:30pm

パンドラの箱(120分・20fps・35mm・無声・白黒) DIE BÜCHSE DER PANDORA

周りの男女を破滅へと導く魔性の女、ルル役を演じる女優を探していたパストは、ドイツ女優ではなく、ワード・ホークス監督作『港々に女あり』(1928)で観たルイズ・ブルックスを抜擢した(第二候補はマルレーネ・ディートリヒだったという)。活発なフラッパー役で魅力を発揮していたブルックスは、本作で映画史に残る伝説的存在となった。

1929(ドイツ)◎ゲオルク・ヴィルヘルム・パスト◎フランク・ヴェデキント◎ラディスラウス・ヴァイダ◎ギュンター・クランプ◎アンドレイ・アンドレイエフ◎ゴットリープ・ヘッシュ◎ルイズ・ブルックス◎フリッツ・コルトナー◎フランク・レデラー◎カール・ゲッツ◎グスタフ・ティースル◎アリス・ロバーツ

4 8/22(土)2:00pm 9/4(金)2:00pm

第九交響楽(98分・35mm・白黒) SCHLUSSAKKORD

破綻しつつある夫婦関係を延命させるため、大指揮者は幼い男児を養子に取るが、ちょうどそのとき、不幸な成り行きからその男児を手放した実母がアメリカから帰ってくる。アメリカ亡命後『ダグラス・サーク』の名で数々のメロドラマ映画を監督するデレフ・ジールクが、このジャンルを初めて手掛けた作品。ドイツとアメリカを第九の調べでつなぐ序盤部分に始まり、地理的距離と人物の心理的距離を自在に操る。

1936(ドイツ)◎デレフ・ジールク◎クルト・ホイザー◎ロベルト・パバスケ◎エーリッヒ・ケッテルフォート◎クルト・シュレダー◎ヴィリー・ビルゲル◎リルダゴファー◎マリア・フォン・タスナディ◎マリア・コッペンヘーファー

5 8/23(日)11:00am 9/4(金)5:15pm

どん底(82分・35mm・白黒)LES BAS-FONDS

泥棒稼業のベベルは、愛するナターシャとともに吹き溜まりのような宿から抜け出したいと願っているが、一方で彼女の姉と腐れ縁に陥っていて…。ゴーリキーの戯曲を、登場人物の名前はロシア名のまま、あえてパリの風景のなかで映画化。『ピクニック』(1936)と『大いなる幻影』(1937)の中間に撮られた、脂の乗り切った時代のルノワール作品であり、彼とギャバンが初めて組んだ映画でもある。

1936(フランス)◎ジャン・ルノワール◎マクシム・ゴーリキー◎エヴゲニー・ザマヤチン◎ジャック・コンパネーズ◎シャルル・スパーク◎フェード・ブルガソフ◎ウジェーヌ・ルーリエ◎ユーグ・ロラン◎ジャン・ヴィーネル◎ジャン・ギャバン◎ジュジ・プリム◎ルイ・ジュールヴェ◎ジュニ・アストール

6 8/23(日)2:00pm 9/5(土)11:00am

近松物語(102分・35mm・白黒・英語字幕付き)

大経師の内儀・さんと手代の茂兵衛は、誤解から不義密通の罪を負わされて逃げるが、その道中で真実の恋に目覚めていく。近松の『大経師普賢』を下敷にした悲恋物語。溝口健二の映画では、川や湖のシーンがいつも素晴らしいが、この映画のそれは極め付きと言える。宮川一夫の撮影も、主演スター二人の演技も一分の隙もなく、悲劇と愛の恍惚とが交錯する終結部へと映画を駆け上らせる。

1954(大映京都)◎溝口健二◎近松門左衛門◎依田義賢◎宮川一夫◎水谷浩◎早坂文雄◎長谷川一夫◎香川京子◎南田洋子◎進藤英太郎◎小澤栄◎菅井一郎◎田中春男◎石黒達也◎浪花千栄子◎十朱久雄◎荒木恋

7 8/28(金)1:00pm 9/5(土)2:00pm

用心棒(110分・35mm・白黒)

二つのやくざ組織が支配する宿場町に現れた一人の浪人。型にはまらない彼の行動は、町のパワーバランスをかき乱し始める。黒澤明は伝統的時代劇の様式的な殺陣を排し、泥臭くも力感にあふれたアクションを演出した。そのインパクトは海外にも波及し、「マカロニ・ウェスタン」なるサブジャンルをも誕生させることになる。作品世界のダイナミズムをいっそう強調する、ズームレンズの使用法が卓抜。

1961(黒沢プロ=東宝)◎黒澤明◎菊島隆三◎宮川一夫◎村木与四郎◎佐藤勝◎三船敏郎◎仲代達矢◎司葉子◎山田五十鈴◎加東大介◎河津清三郎◎志村喬◎太刀川寛◎夏木陽介◎東野英治◎藤原釜足◎沢村いき雄◎渡辺篤◎藤田進◎山茶花◎西村晃◎加藤武

8 8/28(金)5:00pm 9/6(日)11:00am

乱れる(98分・35mm・白黒)

夫の遺した酒屋を20年間守ってきた寡婦の礼子は、スーパーマーケットの進出で経営の見直しを迫られるなか、義弟から恋心を打ち明けられて動揺する。成瀬作品の最良の瞬間には、まるで犯罪映画のような緊迫感がみなぎっているが、ほぼ全篇がそうした瞬間で構成されているこの映画は、カット割りや美術、衣裳、人物の動きの連動でサスペンスを持続させながら、やがて衝撃の結末へと至る。

1964(東宝)◎成瀬巳喜男◎松山善三◎安本淳◎中智智◎斎藤一郎◎高峰秀子◎加山雄三◎草笛光子◎白川由美◎浜美枝◎三益愛子◎藤木悠◎北村和夫◎十朱久雄◎浦部舜子◎柳谷寛◎佐田豊◎中山隆◎矢吹寿子◎中北千枝子

9 8/29(土)11:00am 9/6(日)2:00pm

少年(97分・35mm・カラー)

新聞の見出しとなった実際の出来事を基に、父に命じられて「あたり屋」行為を繰り返しながら日本中を渡り歩く少年と、その家族を描いた作品。一面を白く塗りつぶす深い雪景色をとらえた映像が、そこにたたく少年の孤独感を際立たせる。象徴性と様式美に満ちた演出と、リアルな感情をすくい上げる演出とを両立しつつ、大島渚の恠げな思考は「家族」を経由して「国家」を撃つ。

1969(創造社=ATG)◎大島渚◎田村孟◎吉岡康弘◎仙元誠◎戸田重昌◎林光◎渡辺文雄◎小山明子◎阿部哲夫◎木下剛志

●《京橋映画小劇場》とは

平成18(2006)年度よりフィルムセンターは、これまで教育機関のための特別映写や一部の共催事業の会場として使用されてきた小ホールを、《京橋映画小劇場》(KYOBASHI-ZA)の名のもと、年に数回、フィルムセンターの主催上映企画にも利用し、さらなる上映活動の拡充を図っています。

フィルムセンター所蔵作品の公開を中心に、外部団体との共催企画も引き続き模索しつつ、多彩な上映企画の実現を目指します。大ホール・展示室企画ともども、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

	金曜日	土曜日	日曜日
8月	2:00pm 1 栄光	10:30am 3 パンドラの箱	11:00am 5 どん底
	5:00pm 2 サンライズ	2:00pm 4 第九交響楽	2:00pm 6 近松物語
	1:00pm 7 用心棒	11:00am 9 少年	11:00am 2 サンライズ
	5:00pm 8 乱れる	1:45pm 1 栄光	1:30pm 3 パンドラの箱
9月	2:00pm 4 第九交響楽	11:00am 6 近松物語	11:00am 8 乱れる
	5:15pm 5 どん底	2:00pm 7 用心棒	2:00pm 9 少年

■作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。



フィルムセンター 〒104-0031東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR京橋駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル 03-5777-8600

NFCホームページ: <http://www.momat.go.jp/>